

茅野市の目指す地域DX全体像（案）



凡例 市民の課題感が深いセグメント×領域 2025年までの施策 2030年までの施策

第6次茅野市
総合計画
DXの
ゴール
DXの
価値

幸せを実現できるまち
(たくましく やさしい しなやかな交流拠点CHINO)

安心・安全に暮らせる【暮らし】 地域内で稼げる【産業】 学び・活躍の場がある【人】

デジタルによるサポートで、
市民が生き生きと“健康”※に暮らせる

市民の充実した生活 日常生活での負担軽減により、生活に余裕が生まれる
自分に合ったサービスにより、過ごしたい日常を送れる

サービス提供 参加

地域サービスの維持・向上 データ連携によるサービスの省力化、および、効率的な提供体制の構築
地域内外の人とのつながりの強化

取組み分野及び市民の目指す将来像(2030年)
取組み施策例 (記載方法は凡例参照)

2030年 目指す在り方	地域で暮らす中で 自分の可能性を 広げられ、なりたい 姿を広く描ける	地域から十分な サポートを受け、 楽に子育てが できる	自分の好きな 仕事や趣味に 割ける時間が 増える	「高齢者だからでき ない」をなくし、「高 齢者だからできる」 を増やす	終末期を 自分の過ごしたい 場所で、過ごしたい ように過ごせる	茅野に来ることで、 リフレッシュでき、 再び訪れたいくなる		
学童・学生	出産・子育て層	現役労働者	高齢者	要介護者・家族	観光客			
医療・福祉が密に連携し、市民の健康の維持ができています	母子健康手帳電子化 夜間小児オンライン相談の実現	PHRを活用した健康増進		安心安全な在宅ケアの実現				
家庭と保育園・学校などが密に連携し、子ども・親一人ひとりが地域に守られている	地域内外連携による授業 保育園等⇔保護者の連絡ツール導入 助け合いコミュニティの形成							
地域の災害リスクが事前に把握でき、有事の際に適材適所で救助できる		消防団・消防署の連携強化						
				要支援者の避難支援充実				
								データ・センサーによる災害情報可視化
市民一人ひとりが行きたいところに自由に行ける環境ができています								“のらぎあ”等、新たな交通システムの構築
								タクシーの用途拡大
既存産業の効率経営が実現し、新たな産業が創出されている								DX人材育成支援
								製造業の生産性向上
								人材のマッチング支援
地域の情報が一元管理されており、観光客に地域ならではの情報が届けられる								登山者支援
								人流可視化によるコンテンツの最適化
自分の必要な地域の情報の受発信が手軽にでき、地域との繋がりを生み出せる								区・自治会の負軽減
								地域情報の集約・発信

DX推進のための仕組み
4つの柱

